

保育者のニーズに沿った幼児曲に関する研究 (1)

—質問紙調査を基にした『うたとあそび』の楽曲選定の過程—

A Study on Infant Music Tailored to the Needs of
Kindergarten and Nursery School Teachers (1)
— Process of Selecting Children's Songs for "Songs and Play"
Based on Questionnaire Survey —

中村礼香¹⁾・新村元植¹⁾・中村ますみ²⁾

Ayaka Nakamura, Genshoku Shimmura, Masumi Nakamura

¹⁾ 鹿児島女子短期大学 ²⁾ 鹿児島国際大学

鹿児島県の幼児教育・保育の現場で広く使用されている幼児曲集『うたとあそび』を改訂するにあたり、現在掲載されている175曲の使用状況を調査するため、鹿児島県内の幼稚園、保育所、認定こども園に質問紙調査を行った。その結果を基に検討を重ね、継続して掲載する楽曲と削除する楽曲の選定を行った。この選定を行う過程で、その楽曲の持つ教育的意義や歌詞の内容、その楽曲の使用場面、幼児にとっての難易度など様々な観点から検討を行い、115曲を継続掲載することとし、残りの60曲を新しい幼児曲に入れ替えることとした。今後は新しい掲載曲について検討すると共に、継続掲載を行う楽曲であっても、より取り組みやすい伴奏への編曲や遊び方の掲載など保育現場でより使いやすい曲集とするために内容の充実を図るべく検討を重ねていきたい。

Key words : 幼児曲、楽曲選定、現場のニーズ

1. はじめに

鹿児島県の多くの幼稚園、保育所、認定こども園において、鹿児島市私立幼稚園協会発行『うたとあそび』という曲集が使用されている。幼児の教育に必要な教材として選定され、幼稚園協会によって幼稚園教諭であれば知っておくべき楽曲が選定されたものであるから、鹿児島県内の養成校も教科書として採用したものと考えられる。その結果、鹿児島県内の幼稚園、保育所、認定こども園で定着したことは当然の流れであろう。

『うたとあそび』は昭和53(1978)年6月10日に発行され、昭和60(1985)年3月に増補改訂されたものの、そこから30年以上改訂をされていない。発行当時、もしくは改訂当時はよく使われていた曲だったのかもしれないが、時代の流れと共に保育者が知らない曲が増えてきている。また、知っているも伴奏が難しいため弾けないと保育者が判断して使われていない曲もある。一方その30年の間に生まれた、幼児に歌い継いでほしい曲が楽譜に掲載されていないということもあって、この度大幅な改訂に取り組むこととなり、

そのための改訂委員会を発足した。改訂委員会は、保育者養成校の音楽担当教員3名と、鹿児島市私立幼稚園協会に委嘱し、選出していただいた7名の幼稚園園長及び幼稚園教諭の10名で構成されている。

本研究では、『うたとあそび』に掲載する曲を選曲するため、鹿児島県内の幼稚園、保育所、認定こども園に質問紙調査を行った結果について述べる。その結果を基に、保育現場のニーズに応える楽譜集、また大学の教材としても使いやすい楽譜集とするために検討を行う。

2. 質問紙調査概要

2-1 対象

対象は鹿児島県私立幼稚園協会に所属している幼稚園、認定こども園145園、及び鹿児島市保育園協会に所属している保育所、認定こども園124園である。

2-2 調査方法

鹿児島県私立幼稚園協会に所属している幼稚園、認定こ

ども園には、7月に行われた第56回鹿児島県私立幼稚園教職員研修大会にて145園に直接配布し、郵送での返信を依頼した。その結果、91園486名からの回答が得られ、その回収率は62.8%であった。また、鹿児島市保育園協会に所属している保育所、認定こども園には郵送にて送付し、郵送での返信をお願いした。124園に配布し、72園127名からの回答が得られた。回収率は58.1%であった。全体では269園に配布し、163園613名からの回答が得られた。全体の回収率は60.6%であった。

2-3 調査内容

調査内容は大きく4つに分けた。

- (1) 回答者の属性（選択式）
- (2) 『うたとあそび』の使用状況（選択式）
- (3) 現在の『うたとあそび』の各曲の使用頻度（○×式）
- (4) 新しい『うたとあそび』に掲載して欲しい曲目（記述式）

詳細については次項の調査結果にて述べていく。

2-4 調査結果

(1) 回答者の属性について

まず、所属している園の種別について質問した。幼保連携型認定こども園の保育者が最も多く、220名であった(35.9%)。次いで幼稚園172名(28.1%)、保育所112名(18.3%)となった。(表1)

次に所属している園の地区を質問した。鹿児島市保育園協会に所属している保育所、認定こども園の回答者127名は全て鹿児島市内のため、鹿児島市の保育者が351名(57.3%)と多くなっているが、表2で示したように鹿児島県の全ての地区から回答を得られたことが分かる。

また、性別に関しては回答者613名のうち女性が599名(97.7%)、男性が14名(2.3%)であった。

回答者を年代別に見ると、20代が最も多く341名(55.6%)、30代143名(23.3%)、40代80名(13.1%)、50代39名(6.4%)、60代8名(1.3%)、無回答2名(0.3%)となっており、幅広い年代の保育者から回答が得られた。

回答者の保育者経験年数は、5年未満が223名(36.4%)、5年以上10年未満が144名(23.5%)、10年以上15年未満が95名(15.5%)、15年以上20年未満が63名(10.3%)、20年以上25年未満が43名(7.0%)、25年以上が32名(7.3%)となり、最も経験年数の長い保育者は40年が2名であった。(表3)

表1 所属している園の種別について

園の種別	人数(名)	割合
幼稚園	172	28.1%
保育所	112	18.3%
幼保連携型認定こども園	220	35.9%
幼稚園型認定こども園	90	14.7%
施設給付型認定こども園	9	1.5%
無回答	10	1.6%
合計	613	100.0%

表2 所属している園の地区について

所属地区	人数(名)	割合
鹿児島市	351	57.3%
南薩地区	26	4.2%
西薩地区	59	9.6%
始良伊佐地区	92	15.0%
大隅地区	54	8.8%
熊毛・大島地区	31	5.1%
合計	613	100.0%

表3 保育者としての経験年数について

経験年数	人数(名)	割合
1年目	61	10.0%
2年目	49	8.0%
3年目	60	9.8%
4年目	53	8.6%
5年目以上10年目未満	144	23.5%
10年目以上15年目未満	95	15.5%
15年目以上20年目未満	63	10.3%
20年目以上25年目未満	43	7.0%
25年目以上30年目未満	18	2.9%
30年目以上	14	2.3%
無回答	13	2.1%
合計	613	100.0%

(2) 『うたとあそび』の使用状況について

現在、多くの幼稚園、保育所が「認定こども園」に移行している時期であるため、実際にはすでに「認定こども園」

に移行していても、これまでの経緯から園の名称や所属している協会は様々である。そこで本論においては、今後鹿児島県私立幼稚園協会に属している園を総称して幼稚園、園名が保育園(所)となっている園(認定こども園を含む)を総称して保育所と記載する。

『うたとあそび』を使用しているかという質問に対し、「a.よく使っている」が432名(70.5%)、「b.たまに使っている」が116名(18.9%)、「c.あまり使っていない」が28名(4.6%)「d.全く使っていない」が32名(5.2%)となった。この結果から90%以上の保育者が『うたとあそび』を使用していることがわかる。(図1)

一方、『うたとあそび』が使いやすいかどうか質問したところ、「a.使いやすい」が227名(37.0%)、「b.どちらかという使いやすい」も同じく227名(37.0%)、「c.どちらかという使いにくい」が105名(17.1%)、「d.使いにくい」が13名(2.1%)、無回答が41名(6.7%)となった。(図2)

続けて「c.どちらかという使いにくい」「d.使いにくい」と答えた118名にその理由を尋ねた。回答は複数回答可としている。最も多かった理由は「伴奏が難しいから」で97名(82.2%)、次いで「コードネームが書いてないから」が43名(36.4%)、そして「右手がメロディになってないから」が40名(33.9%)、「自分が知らない曲が多いから」が23名(19.5%)となった(図3)。

ピアノ伴奏の右手部分がメロディでない曲は175曲中46曲である。それらの曲には、「おもちゃのチャチャチャ」「犬のおまわりさん」「バスごっこ」「とんぼのめがね」「お化けなんてないさ」など現場で良く歌われる曲が含まれる。一方、メロディラインが伴奏に含まれていても「チューリップ」「こいのぼり」「豆まき」「あめふりくまのこ」のように右手が和音で進行する場合も多く、その和音が押さえにくい、弾き難いと感じている保育者も多いことが推察される。また、コードネームが記入されている曲は175曲中17曲のみであった。保育者養成校では簡易伴奏化の際の手掛かりとしてコードネームを使うように教授しているため、

コードネームがあればもっと自由に自分で簡易伴奏化ができると感じている保育者が多いのではないだろうか。

そして、「自分が知らない曲が多い」という意見も20%ほどあった。中村(礼)は短大の授業の中で、『うたとあそび』に掲載されている曲の全てを取り上げている。しかし1,2回歌っただけでは学生達の印象には残らず、結局知らない曲として認識されている可能性もある。例えば「靴がなる」「びわ」「トマト」「とんでったバナナ」「おもちゃのマーチ」など筆者らの世代であれば知っている曲でも、知らない学生が多い。希に「めだかの学校」や「豆まき」「時計のうた」なども知らない学生もいる。幼児期に幼稚園や保育所、家庭でどれだけ歌に触れてきたのかの経験によっても、歌に関する知識の量が変わるであろう。知っている歌の種類が少ない保育者があまり歌を現場で歌わなければ、その保育者の元で育つ幼児は更に歌に触れる機会が減ってしまう。

これらの結果を踏まえて、保育者にも保育者養成校の学生にとっても使いやすい『うたとあそび』にするために、どのような改善を行っていくべきかを検討することにした。

(3) 現在の『うたとあそび』の各曲の使用頻度について

『うたとあそび』には、全175曲が掲載されている。この175曲の中には頻繁に使用されている曲もあれば、あまり使用されていない曲もあるはずである。各楽曲におけるニーズを比較検討するために、この質問項目は設定した。今回の質問紙調査では、掲載されている全曲の曲名を羅列し、保育者には使用頻度の高い曲に丸(○)を、ほとんど使用したことの無い曲にはバツ(×)を、そのどちらにも当たらない曲は空欄とするようお願いをした。その結果について述べていく。

まず、回答者613名中、40%の245名以上が○を付けた楽曲数は69曲であった。逆に40%以上の保育者が×を付けた楽曲数は68曲であった。結果の詳細については表4で示す。

(4) 新しい『うたとあそび』に掲載してほしい曲目について
この結果については次稿で詳しく述べるため割愛する。



図1 『うたとあそび』を使用しているか

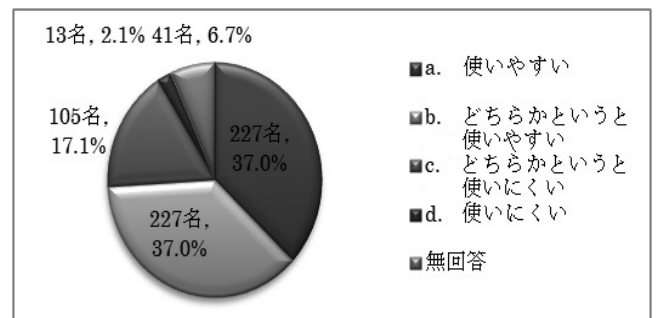


図2 『うたとあそび』は使いやすいか

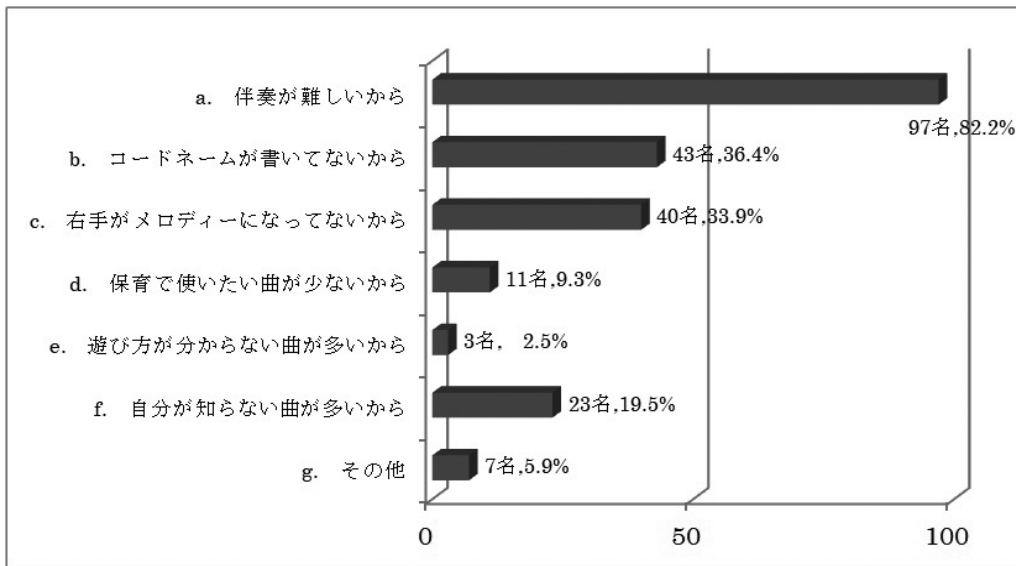


図3 『うたとあそび』が使いにくい理由

表4 『うたとあそび』掲載曲の使用頻度 ○：よく使用する，×：ほとんど使用しない

	○		×									
	人数	割合	人数	割合								
4月のうた	1	チュエリップ	512	83.5%	3	0.5%	29	ながぐつ	18	2.9%	365	59.5%
	2	指のうた	52	8.5%	327	53.3%	30	あめふりくまのこ	400	65.3%	22	3.6%
	3	手をたたきましょう	533	86.9%	4	0.7%	31	かたつむり	526	85.8%	2	0.3%
	4	大きなたいこ	279	45.5%	93	15.2%	32	時計のうた	515	84.0%	6	1.0%
	5	靴がなる	52	8.5%	343	56.0%	33	早起き時計	18	2.9%	389	63.5%
	6	せんせいとおともだち	378	61.7%	68	11.1%	34	おおきな古時計	228	37.2%	71	11.6%
	7	今日からみんなお友達	50	8.2%	339	55.3%	35	父の日の歌	55	9.0%	318	51.9%
	8	お花が笑った	310	50.6%	63	10.3%	36	おとうさん	98	16.0%	277	45.2%
	9	めだかの学校	308	50.2%	66	10.8%	37	お父さん	94	15.3%	246	40.1%
	10	たんぼぼ	19	3.1%	383	62.5%	38	ハバとほく	6	1.0%	391	63.8%
5月のうた	11	ふしぎなポケット	458	74.7%	15	2.4%	39	ゆりかごのうた	166	27.1%	148	24.1%
	12	金魚のひるね	40	6.5%	396	64.6%	40	お使いありさん	435	71.0%	18	2.9%
	13	こいのぼり	512	83.5%	4	0.7%	41	お肩をタントン	21	3.4%	328	53.5%
	14	かぜよふけふけ	46	7.5%	302	49.3%	42	ありさんのお話	468	76.3%	19	3.1%
	15	小鳥のうた	321	52.4%	79	12.9%	43	しゃぼん玉	428	69.8%	22	3.6%
	16	お母さん (中山晋平作曲)	288	47.0%	141	23.0%	44	水あそび	475	77.5%	17	2.8%
	17	お母さん (中田喜直作曲)	206	33.6%	115	18.8%	45	海 (一宮道子作曲)	327	53.3%	95	15.5%
	18	つばめ	29	4.7%	402	65.6%	46	海の底には青いうち	58	9.5%	340	55.5%
	19	おうま	308	50.2%	79	12.9%	47	うみ (井上武士作曲)	377	61.5%	27	4.4%
	20	ぞうさん	454	74.1%	14	2.3%	48	七夕さま	474	77.3%	9	1.5%
6月のうた	21	おんまはみんな	227	37.0%	108	17.6%	49	きらきら星	419	68.4%	25	4.1%
	22	アイアイ	455	74.2%	15	2.4%	50	お星さま	66	10.8%	257	41.9%
	23	えんそく	8	1.3%	413	67.4%	51	お化けなんてないさ	366	59.7%	34	5.5%
	24	おたまじゃくし	71	11.6%	315	51.4%	52	はなび	79	12.9%	256	41.8%
	25	かえるの合唱	509	83.0%	5	0.8%	53	トマト	156	25.4%	189	30.8%
	26	びわ	13	2.1%	408	66.6%	54	南の島のハメハメハ大王	425	69.3%	21	3.4%
	27	雨	124	20.2%	240	39.2%	55	ヤンチャリカ	38	6.2%	324	52.9%
	28	雨だれポットン	290	47.3%	124	20.2%	56	とんでったバナナ	207	33.8%	118	19.2%
						57	夏休みのうた	32	5.2%	368	60.0%	
						58	アイスクリーム	472	77.0%	15	2.4%	

保育者のニーズに沿った幼児曲に関する研究 (1)

	○		×												
	人数	割合	人数	割合											
9月のうた	59	雲さん	4	0.7%	439	71.6%	1月のうた	107	月火水木金土日のうた	67	10.9%	285	46.5%		
	60	こおろぎ	79	12.9%	329	53.7%		108	たこの歌	215	35.1%	193	31.5%		
	61	せみのうた	56	9.1%	332	54.2%		109	こんこんこやま	29	4.7%	338	55.1%		
	62	おなかのへるうた	242	39.5%	89	14.5%		110	雪のペンキやさん	394	64.3%	45	7.3%		
	63	うちのおじいさん・おばあさん	4	0.7%	405	66.1%		111	雪	389	63.5%	34	5.5%		
	64	お月さま	192	31.3%	157	25.6%		112	まがりかど	23	3.8%	358	58.4%		
	65	とんぼのめがね	503	82.1%	5	0.8%		113	北風小僧の寒太郎	273	44.5%	82	13.4%		
	66	おへそ	247	40.3%	127	20.7%		114	おもちゃのチャチャチャ	440	71.8%	22	3.6%		
	67	ボンボコたぬき	269	43.9%	136	22.2%		115	やぎさん郵便	451	73.6%	17	2.8%		
	68	かわいいかくれんぼ	213	34.7%	126	20.6%		116	あられ	35	5.7%	343	56.0%		
	69	お話し指さん	199	32.5%	99	16.2%		2月のうた	117	豆まき	444	72.4%	32	5.2%	
	70	おもちゃのマーチ	230	37.5%	114	18.6%			118	つぼみ	45	7.3%	355	57.9%	
	10月のうた	71	キリンさん	173	28.2%	201			32.8%	119	きゅつきゅつきゅつ	69	11.3%	341	55.6%
		72	森のくまさん	430	70.1%	24			3.9%	120	おさるが舟をかきました	46	7.5%	363	59.2%
73		おすもうくまちゃん	90	14.7%	242	39.5%	121	春よこい	255	41.6%	114	18.6%			
74		こぶたぬきつねこ	344	56.1%	42	6.9%	122	うれしいひなまつり	504	82.2%	8	1.3%			
75		でぶいもちゃんちびいもちゃん	152	24.8%	210	34.3%	123	そうだったらいいのにな	420	68.5%	30	4.9%			
76		まつぼっくり	460	75.0%	15	2.4%	124	うぐいす	119	19.4%	289	47.1%			
77		どんぐりころころ	496	80.9%	3	0.5%	125	春	132	21.5%	208	33.9%			
78		どんぐり	407	66.4%	33	5.4%	126	一年生になったら	341	55.6%	53	8.6%			
79		走るの大好き	22	3.6%	381	62.2%	127	サッチャン	121	19.7%	174	28.4%			
80		うんどうかい (則武昭彦作曲)	251	40.9%	152	24.8%	128	思い出のアルバム	445	72.6%	28	4.6%			
81		運動会 (木原 靖作曲)	120	19.6%	192	31.3%	129	卒業の歌 (大中寅二作曲)	115	18.8%	267	43.6%			
82		秋	77	12.6%	264	43.1%	130	卒業の歌 (一宮道子作曲)	94	15.3%	268	43.7%			
11月のうた		83	菊の花	309	50.4%	125	20.4%	131	シャベルでホイ	28	4.6%	373	60.8%		
		84	線路は続くよどこまでも	419	68.4%	22	3.6%	132	おはようのうた (河村光陽作曲)	261	42.6%	149	24.3%		
	85	山のワルツ	173	28.2%	157	25.6%	133	おはようのうた (渡辺茂作曲)	206	33.6%	141	23.0%			
	86	ぶらんこ	20	3.3%	389	63.5%	134	たんじょうび	142	23.2%	225	36.7%			
	87	走れちょうとつきゅう	31	5.1%	344	56.1%	135	かたづけましょう	117	19.1%	206	33.6%			
	88	ゆうらんバス	10	1.6%	375	61.2%	136	おもねをはりましょ	38	6.2%	352	57.4%			
	89	バスごっこ	409	66.7%	35	5.7%	137	どこでしょう	135	22.0%	218	35.6%			
	90	犬のおまわりさん	425	69.3%	28	4.6%	138	せつけんさん	18	2.9%	379	61.8%			
	91	りんごとみかん	34	5.5%	377	61.5%	139	お瓜をきりましょう	11	1.8%	404	65.9%			
	92	もみじ	161	26.3%	168	27.4%	140	お弁当	413	67.4%	49	8.0%			
	93	まっかな秋	218	35.6%	88	14.4%	141	歯をみがきましょう	163	26.6%	185	30.2%			
	12月のうた	94	つんつんつるさん	12	2.0%	416	67.9%	142	はみがきのうた	54	8.8%	292	47.6%		
		95	コンコンクシャンのうた	348	56.8%	70	11.4%	143	おかえりのうた	311	50.7%	101	16.5%		
		96	たき火	335	54.6%	54	8.8%	144	赤青黄いろ	8	1.3%	392	63.9%		
97		もしもコックさんだったなら	39	6.4%	353	57.6%	145	さようならのうた	393	64.1%	65	10.6%			
98		きよしこの夜	205	33.4%	140	22.8%	146	おはなし	163	26.6%	177	28.9%			
99		ジングルベル	356	58.1%	61	10.0%	生活のうた	147	あらどこだ	60	9.8%	289	47.1%		
100		北の国から	140	22.8%	262	42.7%		148	手をつなごう	113	18.4%	246	40.1%		
101		サンタクロース	304	49.6%	96	15.7%		149	ひょうたんぼっくりこ	10	1.6%	383	62.5%		
102		あわてんぼうのサンタクロース	438	71.5%	48	7.8%		150	ひらいたひらいた	126	20.6%	174	28.4%		
103		お正月	472	77.0%	16	2.6%		151	かごめかごめ	170	27.7%	140	22.8%		
104		もちつき	264	43.1%	125	20.4%		152	あくしゅでこんにちは	302	49.3%	76	12.4%		
105		カレンダーマーチ	304	49.6%	114	18.6%		153	通りゃんせ	83	13.5%	210	34.3%		
106		すうじの歌	432	70.5%	33	5.4%		154	おちゃらかホイ	116	18.9%	163	26.6%		
集団あそびのうた							155	竹の子1本おくれ	39	6.4%	350	57.1%			
						156	花いちもんめ	139	22.7%	150	24.5%				

		○		×								
		人数	割合	人数	割合							
集団あそびのうた	157	庭に出て遊ぼう	5	0.8%	413	67.4%	166	お寺のおしょうさん	146	23.8%	162	26.4%
	158	スキップあそび	3	0.5%	386	63.0%	167	にほんばしこちょこちょ	129	21.0%	173	28.2%
	159	子供の王様	22	3.6%	402	65.6%	168	やおやのつねごさん	18	2.9%	338	55.1%
	160	1人の象さん	47	7.7%	340	55.5%	169	ロンドン橋	156	25.4%	156	25.4%
	161	大きな熊さん	17	2.8%	363	59.2%	170	泣こかい飛ぼかい	27	4.4%	353	57.6%
	162	ジョンプランの小父さん	7	1.1%	413	67.4%	171	サラリと勝ったよ	9	1.5%	395	64.4%
	163	あんたがたどこさ	141	23.0%	151	24.6%	172	ジャンジャンジャン助さん	0	0.0%	420	68.5%
	164	大きな栗の木の下で	434	70.8%	25	4.1%	173	親指ねむれ	22	3.6%	352	57.4%
	165	げんこつやまのたぬきさん	322	52.5%	66	10.8%	174	一が喰ろた二が喰ろた	6	1.0%	409	66.7%
							175	林の中から	36	5.9%	349	56.9%

3. 掲載楽曲の選定

3-1 選定基準

アンケート調査の結果、40%以上の保育者が「よく使う」とした69曲に関しては、無条件で全て残すこととした。しかし、使用率（○率）が20～30%の楽曲の中にも、「ほとんど使ったことがない」という未使用率（×率）が高い楽曲もあれば、低いものもあった。これは「どちらにも当たらない」という空欄の数の違いによる。また、「よく使う」に対する捉え方も回答者によって異なる可能性があるため、改訂委員会で1曲ずつ検討することにした。さらに、40%以上の回答者が×を付けた68曲についても、編集した当初の思いや願いを慮ると、数字による結果として安易に削除することはできないと考え、検討を行うこととした。つまり、○率40%以上の約4割の楽曲以外の106曲は、すべて検討の対象として審議した。改訂委員のメンバーである幼稚園教諭の中には、所属園の実態と大きく異なる調査結果に驚く方もあり、どのような場面で活用しているかなどの意見を交換しながらの作業となった。その際、掲載を前提として参考にした基準は次の6点である。

- ① 幼保合わせた回答者613名全員の結果としては○が20～30%程度の楽曲であっても、幼稚園保育所別の結果を見ると、どちらかでは40%以上の保育者がよく使用している楽曲
 - ② 「日本の歌百選」に選ばれている楽曲
 - ③ 幼児の教育・保育において必要な内容が、分かりやすく含まれている楽曲
 - ④ リトミックや体操、リズム運動などで使える曲
 - ⑤ 鹿児島島の郷土の歌として歌い継いで欲しい曲、及び遊び方がわかりやすいわらべうた
 - ⑥ この楽譜から削除してしまうと、他の楽譜集ではなかなか見つからないであろう楽曲
- ①については、保育所には、幼稚園に在籍しない年齢の

幼児を対象に使用する楽曲が求められるため、得られたデータが大きく異なることは当然の結果と言えよう。しかし、現在認定子ども園への移行が進んでいるため、これまで幼稚園では使用していなかった、3歳未満の幼児を対象とする楽曲も必要となることが予測される。これらは新曲の導入を検討する場合にも、考慮すべき点である。

②を基準として示したのは、「受け継いでほしい」とされている楽曲の目安を何に求めるかと考えたためである。「日本の歌百選」は、2006年文化庁と日本PTA全国協議会が親子で長く受け継いでほしい童謡・唱歌や歌謡曲などから選定した101曲である。

③、④については、現在は使用率が低くても、その価値を伝え、活用の具体的な方法を改訂した『うたとあそび』の中で取り上げれば、使用率が上がるのではないかという願いからである。今回の改訂作業は楽曲の入れ替え作業に留まるものではなく、幼児の教育に必要な要素を検討しながら、音楽をより有効に使うこと、そのために使いやすい曲集にすることも目指している。

⑤については、ポップな曲調、複雑なリズムの楽曲が多い昨今、特に3歳未満の幼児にはわらべうたのようなシンプルな音楽も必要である。また、郷土の精神文化を伝える役目も果たすであろう。しかしながら、○率が極端に低い楽曲もあったため、単に重要だからという理由からだけでなく、活用の方法を明記できる楽曲を選定することとした。

⑥については、使用率が高いわけではないが一定以上の数字があり、他の曲集ではあまり掲載されていない楽曲を指す。『うたとあそび』から削除されたら、一部の保育者は困惑することが予想される楽曲を指す。

3-2 選定結果とその理由

検討対象楽曲106曲中、結果的に残すことを決めた楽曲は46曲となった。使用率が高く無条件に継続掲載が決定して

いた69曲と合わせると、115曲である。本項では、検討の結果選定された46曲について、前項の基準を基に述べていく。

①幼稚園と保育所で○率が15ポイント以上の差があった楽曲は32曲に上るが、その中でも幼稚園で○が30%未満にもかかわらず、保育所では40%前後となっている楽曲は表5に示す通りである。この他にも15ポイント以下の差の中に、「お月さま」「とんでったバナナ」「かわいいかくれんぼ」「たこの歌」などがある。いずれも幼稚園で○率30%程度であるが、保育所では40%を超えている。「たんじょうび」の選定を見送ったのは、幼保どちらも40%を超えていないこともあるが、新曲（「Happy Birthday」）の導入を見込んだためである。

表5 幼稚園と保育所で使用率において15ポイント以上の差があった楽曲（幼稚園での使用率30%未満、ポイント差順）

楽曲名	幼稚園使用率	保育所使用率	幼保使用率の差	選定結果
雨	15.0%	40.2%	25.2	継続
どこでしょう	17.7%	38.6%	20.9	継続
お話し指さん	28.8%	46.5%	17.7	継続
手をつなごう	14.8%	42.2%	17.5	継続
トマト	22.2%	37.8%	15.6	継続
たんじょうび	20.0%	35.4%	15.5	削除
キリンさん	25.1%	40.2%	15.1	継続

②の基準とした「日本の歌百選」に照らして、選定したものは表6の通りである。「靴がなる」の○率が8.5%の結果は筆者らの予想を大きく下回るものであったが、回答者の半数が20代の保育者という実態を考慮すると納得できる数字である。確かに1919年に作曲された古い楽曲であるが、100年間歌い継がれた楽曲と言い換えることもできる。最近ではNHK教育テレビの幼児番組「にほんごであそぼ」でも取り上げられている。同様に、「ゆりかごのうた」も1921年に作曲され、約100年間歌い継がれた楽曲である、1967年と1974年にNHK「みんなのうた」で放映されている。「サッチャン」は幼児が歌うには、フレーズが長く音楽上やや難しい面もあるが、この3曲は「日本の歌百選」のねらいとする「親子で歌う」にふさわしい歌詞であると考え。特に親や保育者が子どもに歌いかける歌として、折に触れて取り上げてほしい楽曲と考え、継続掲載することとした。

表6 「日本の歌百選」に選定されているため掲載の継続を決定した楽曲（使用率が低い順）

楽曲名	作詞者	作曲者	○率	×率
靴がなる	清水かつら	弘田龍太郎	8.5%	56.0%
サッチャン	阪田寛夫	大中 恩	19.7%	28.4%
ゆりかごのうた	北原白秋	草川 信	27.1%	24.1%

③について検討すると、検討対象曲の一覧には瞥見するだけで自然を歌ったものが多い。幼児教育における歌の役割は、単に歌うという「表現」のみをねらいとしているわけではなく、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における内容5領域の「環境」や「言葉」との関連からも重要である。これらの曲がすべて削除されることは、幼児教育における重要な資源を失うことになるというのは、改訂委員共通の見解である。幼児が日々楽曲に触れるうちに、季節の移り変わりや動植物の生態のおもしろさに気付いたり、その様子を表す日本語ならではの表現に触れたりするという機会を失うことになるからである。これらのことから、○率10%という数字は全体の結果を考慮するとかなり低いものではあるが、この10%を一つの目安としながら、現場での活用の実態を改訂委員と意見交換して、表7に挙げた14曲のうち、5曲を残すこととした。

表7 使用率は低い幼児教育に必要な内容を多く含んでいると思われる楽曲（現在の掲載順）

楽曲名	○率	歌詞	選定結果
たんぼぼ	3.1%	たんぼぼはお日様の子どもです 夕方にお花を閉じてねむります	削除
金魚のひるね	6.5%	赤いべきたかわいい金魚 おめめをさませばごちそうするぞ	削除
つばめ	4.7%	つばめの母さん すいすいすい えさをくわえて すいすいすい	削除
おたまじゃくし	11.6%	おたまじゃくしに足が出て 手が出てきたら尾が取れた	継続
びわ	2.1%	びわは優しい木の実だから 抱っこし合って熟れている	削除
お星さま	10.8%	お星さまばかりお話してる 小さな声でかわいい声でお話してる	削除
雲さん	0.7%	白い雲さん ふわふわと 向こうのお山へおさんぽだ	削除
こおろぎ	12.9%	こおろぎちろちろりん こおろぎころころりん……草の中	継続
せみ	9.1%	せみせみ ……せみん みーん どこにいるのか ……なかなかいないよ	継続
秋	12.6%	秋です ……お空もきれいに澄んでます …… とんぼもすいすい飛んでます	削除
つんつんつるさん	2.0%	つんつんつるさん あしながさん あなたのあんよは なぜ長い	削除

あられ	5.7%	こんこんこんこん あられがふる パラリ… こんこんこんこん	削除
つぼみ	7.3%	つぼみの中でおはながねんね まだまださむい しずかにねんね	継続
うぐいす	19.4%	梅の小枝でうぐいすは 春が来たよと 歌います ホーホーホケキョ…	継続

④においては、幼児から動きを引き出すために、歌詞の内容よりも、音楽そのものが持つリズムや曲調を重視して選定したものである(表8)。「山のワルツ」は、数少ない3拍子の楽曲であることから、幼児に様々なリズムや曲調を体験する機会になる楽曲として残した。全身を大きく揺らすような動きに使用してもらいたい。「ロンドン橋」は2コードのみの楽曲であるため、走ったり、ゆっくり歩いたりするときに、伴奏を変化させることが容易にできる。「ヤンチャリカ」は幼稚園教諭の委員から強い要望があった。手足を突き出すような動きにふさわしい曲調であり、上手く活用できれば発散的な場を作ることができる。 「山のワルツ」「ヤンチャリカ」は、幼児が歌うには難しく、そのことが使用率の低い原因だったと思われるが、活用方法の提案についても今後検討したい。

表8 リトミック等で使用するために削除を見送った楽曲

楽曲名	○率	×率	楽曲の特徴
山のワルツ	28.2%	25.6%	3拍子、揺れる感じ
ロンドン橋	25.4%	25.4%	伴奏は2コード(I, V)
ヤンチャリカ	6.2%	52.9%	マーチ調、「うんと明るく元気に」の指示あり

⑤わらべうたは、残念ながら全曲が削除検討の対象となった。特に、郷土のわらべ歌として掲載されている楽曲は○率10%に届くものは無いという結果である。表9には○率の高い楽曲から並記したが、「かごめかごめ」から「通りゃんせ」までの8曲については、遊び方も明確であり、全国的に浸透しているわらべうたであるため、使用してほしいという願いを込めて掲載を継続することとした。「竹の子1本おくれ」以下の8曲は未使用率が55~70%弱という結果ではあるが、慎重な審議の結果、3曲を残すこととした。郷土のわらべうたとして掲載の2曲については、数字が低くても削除が譲れない2曲を選択した。「泣こかい飛ぼかい」(意味:泣こかな飛ぼかな)は「泣こよっか ひっ飛べ」(泣くよりも思い切って飛びなさい)という勇気づけの諺として、鹿児島で最も有名なものであり、子どもたち自身に唱えてほしい。「サラリと勝ったよ」は単なるジャンケン歌ではなく、その後の動作によってゲームの勝ち負け

が決まるものである。郷土に残る遊びとして受け継いでもらいたいと、掲載を継続することとした。

表9 わらべうたの中で検討対象となった楽曲(○率の高い順)

楽曲名	郷土	○率	×率	遊び方の掲載	選定結果
かごめかごめ		27.7%	22.8%		継続
お寺のおしょうさん		23.8%	26.4%	○	継続
あんたがたどこさ		23.0%	24.6%		継続
花いちもんめ		22.7%	24.5%	○	継続
にほんばしこちょこちょ		21.0%	28.2%	○	継続
ひらいたひらいた		20.6%	28.4%		継続
おちゃらかホイ		18.9%	26.6%		継続
通りゃんせ		13.5%	34.3%		継続
竹の子1本おくれ		6.4%	57.1%		継続
林の中から	○	5.9%	56.9%		削除
泣こかい飛ぼかい	○	4.4%	57.6%	○	継続
親指ねむれ	○	3.6%	57.4%	○	削除
やおやのつねこさん		2.9%	55.1%	○	削除
サラリと勝ったよ	○	1.5%	64.4%	○	継続
一が喰ろた二が喰ろた	○	1.0%	66.7%	○	削除
ジャンジャンジャン助さん	○	0%	68.5%	○	削除

最後に⑥については、「卒業の歌」が挙げられる。現在出版されている幼児曲の楽譜ではあまり見られない曲であり、在園児が卒園児を送る歌という歌詞は他の卒園の歌とは趣が異なるため、×率が43.6%であるが残すこととした。

3-3 削除を決定した楽曲

前項で述べたように、○率が低くても引き続き掲載することを決定した楽曲もあるが、止む無く削除せざるを得ない楽曲も多くあった。削除については、掲載継続よりも一層慎重に行わなければならないとして、削除を決定する基準を以下とした。

- ① 小学校の教材となっている楽曲
- ② 歌詞が現代の価値観に合わない楽曲
- ③ 幼児が歌うには難しい楽曲
- ④ 「集団あそびのうた」において、遊び方が不明の楽曲やニーズの低いわらべうた
- ⑤ 同じ様な内容の曲で別の曲に差し替えたい楽曲

①の対象となったのは「まっかな秋」である。○率は35.6%と高いものであったが、小学校5年生の教科書に掲載されている楽曲であり、『うたとあそび』に掲載されている楽譜も2部合唱である。歌われている情景、跳躍進行の多いメロディなど、幼児が歌うには難しい曲だと思われる

ため、削除することとした。他にも「もしもコックさんだったなら」もこれに該当する。歌唱に限らず、鍵盤ハーモニカなどの指導においても、小学校での指導内容を幼稚園で大きく先取りして扱うことについては、問題視している研究者もいる。

②の対象となったのは「お肩をタントン」や「指のうた」である。「お肩をタントン」では「おとうさま、おかあさま」、「おつとめ」、「つかれておいでになるでしょう」などの言葉が並び、これらを現代の幼児の日常とはかけ離れていると感じる保育者も多いことが推察される。特に「指のうた」は使用される音域も6度と狭く、順次進行を基本とした歌いやすい楽曲であるにもかかわらず、○率8.5%と低い数字であるのは、同様の理由ではないかと考え、削除することとした。

③の対象となったのは、「春」、「月火水木金土日のうた」などである。跳躍進行の多いメロディ、逆に半音で進行するメロディのため、音程を取ることが難しい楽曲である。○率の高い楽曲の中にも幼児が歌うには難しい楽曲もあるのだが、あくまで削除対象楽曲の中での決定基準である。歌唱として難しい楽曲であっても、幼児にとって魅力的で、好んで歌われる楽曲は、どのような要素を含んでいるのかについても今後分析し、新曲導入の際の手掛かりとしたい。

④使用頻度の低い楽曲は、その多くが「集団あそびのうた」に収録された楽曲である。このカテゴリーには、明らかに集団あそびであるものもあるが、手遊びやじゃんけん遊びなども含まれる。遊び方や動作について添えられている楽曲もある一方で、どのような遊びの場面で使うべきか分からないものもある。「ひょうたんぼっくりこ」「庭に出て遊ぼう」「スキップあそび」「子供の王様」「1人の象さん」など、調べても遊び方が分からなかったため、削除対象となった。幼児教育における遊びに音楽を介在させる必要性について、現場の保育者と共有するためにも、今回の改訂作業の機会を活用していきたい。遊び方が分からないものはわらべうたに多く、その中に郷土の素材が含まれていることは残念なことである。「ジャンジャン助さん」や「一が喰ろた二が喰ろた」は、叩いたり、つねったりする遊びに抵抗感があるためか、0～1%と極めてニーズが低い。郷土の楽曲で遊び方も分かっているが削除することとした。「林の中から」は郷土の楽曲として掲載されているが、全国に同様のわらべうたがあり、各県、また県内でも地方によって歌詞も節も異なるため、掲載を見送った。

⑤に関しては、例えば「たんじょうび」を「Happy Birthday」に、「かたづけましょう」を「おかたづけのうた」に、「お

とうさん」を「すてきなパパ」に変更するといったように、新曲の希望に上がってきた楽曲に照らし合わせながら、現場でより使われていると考えられる楽曲を導入するため、削除することとした。

3-4 考察

質問紙調査の結果を受け、○率の低い楽曲、あるいは×率の高い楽曲イコール教育・保育の場においてニーズの低いものとしたわけではないことは前項までのとおりである。今回、約4割の楽曲がほとんど使用されていないという実態が明らかになった。これらの楽曲がなぜ使われなくなったのかについて、詳細な分析を行う必要があると考える。そうすることで、新曲導入の際に、幼児教育における教材としての価値を見いだすことに繋がるであろう。これらは第2報以降で報告することとする。

前項までに述べた選定作業過程でも、すでに参考としている点であるが、今回削除対象となった楽曲について、改めて以下のような点について分析を深める必要性を感じている。

(1) 楽曲の難易度

楽曲の難易度は、幼児の歌唱教材としてふさわしいかに直結するものである。使われている音域、跳躍進行や半音進行などの有無、リズムの複雑さ、楽曲の長さなど、様々な要素が絡み合っただけで難易度は決まるが、何をもちょうしいかについても賛否の分かれるところであろう。現に、○率の高い楽曲の中にも難しい楽曲は含まれている。その例として「あめふりくまのこ」は、使用される音域も広く、跳躍進行の多いメロディであるが、○率65.3%、×率3.6%とニーズの高い楽曲である。

また、幼児だけでなく、保育者にとっての難易度も着目すべき点である。つまり、伴奏の難易度、あるいは歌いながら伴奏を弾く上での難易度である。それらには、調性も大いに関連してくると思われる。改訂委員の中からは「伴奏が簡単ならもっと使用頻度が増えるはず」という声も聞かれた。今後は、保育者や養成校学生に対してインタビュー等を行い、どのような点を難しいと感じるのかを明らかにして、簡易伴奏への編曲に取り組むべきと考える。

(2) 歌詞の内容と楽曲の発表された時期

歌詞は前項の削除基準②でも述べたが、その内容は楽曲の発表された時期との関連も大きい。歌は音楽と共に歌詞の存在があり、口ずさむと自然に歌詞が出てくることも多い。このことが幼児の教育・保育で歌が用いられる所以であり、幼児は歌詞の意味・内容の理解がたとえ十分でなく

とも歌い、歌いながら様々な事柄を学んでいく。削除検討対象の楽曲の中にも、幼児の教育・保育で扱いたい内容の歌詞が多く含まれている楽曲があったため、掲載を継続することになった経緯は前項までのとおりである。このようにして継続が決定した○率の低い楽曲については、その教育的意義を伝え、使用の仕方を提案できなければ、再び使用率の低い状態が続く可能性が大きい。

現在の『うたとあそび』には、その発行当時に子どもたちによく歌われていたと推測される楽曲がある。時代に合わなくなったと安易に判断することなく、歌詞に限らず様々な観点からの分析を進める必要がある。現代のように目まぐるしく変化する社会にあっても、幼児の教育・保育に必要な普遍的な価値について見極める手掛かりとしたい。

(3) 使用する場面

現在の『うたとあそび』は月ごとに数曲が割り振られているという構成であり、そこには当然のことながら、その月にふさわしい「季節の歌」も含まれている。しかし、今回の調査からは「季節の歌」の使用が一部の楽曲に限定されていることが明らかになった。「生活の歌」のように使用場面がルーティーン化した楽曲以外は、どのように使われているのだろうか。保育者がどのような場面で、どのようなねらいをもって音楽を活用しているのかを調査することで、今後、教育・保育において、さらに音楽を有効活用していけるような提案が行えると考えられる。

4. まとめ

幼稚園教育要領（平成29年3月告示）等では、第2章ねらい及び内容で「幼児期の終わりまでに育って来て欲しい姿」として、5領域の「表現」において「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。」とし、音楽表現関係の内容では、「(6) 音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。」としている。(注1)

今回の新『うたとあそび』に関する幼児曲選定作業は、保育者のニーズに沿った幼児曲を選定する作業であったが、教育・保育の内容である5領域と密接な関係を持っている。特に最も基本となる視点は、幼児が幼児曲を通して実際に歌唱や身体表現をする際に、その楽しさを味わうことが出来る楽曲を選定する作業でもあった。

まず、選定作業の基本資料となる質問紙調査では、鹿児島県内各地区の幼保連携型認定こども園、幼稚園及び保育所の保育者613名の協力があつた。本稿は『うたとあそび』

の改訂における幼児曲の選定作業であったが、その過程では、幼児が歌唱および身体表現をするためにどのような楽曲がふさわしいかが楽曲選定の基本となった。また、その選定過程は保育者が実際の現場で充実した教育・保育が可能であるかが重要な楽曲選定における視点でもあつた。保育者が日々の教育・保育で取り上げる楽曲は自己の知っている楽曲や楽譜の難易度により選びがちであるが、今回は幼児にとっての教育的意義や、教育・保育をする上でのねらいを基本として選定した。

今回の選定作業では、前回の改訂が30年以上前であり、175曲のうち115曲を継続使用することにした。その他の60曲については新曲と入れ替えることにしたが、改めてその時代に合った楽曲の必要性を感じた。

また、幼児曲を使用した教育・保育では、ピアノ等のキーボードを使用しない教育・保育も可能ではあるが、保育者及び幼児が幼児曲を歌唱する際には、楽譜の正確な音程を基準とした幼児曲の歌唱は重要であると考えた。

これは、大学で行われる保育者養成のための音楽授業でも大切な視点である。学生にとっては幼児曲を歌唱する際に、基準となる音程が必要であり、特に幼児期に歌唱した曲について、記憶が曖昧な場合が多い。その際には、正確な音程とリズムを楽譜により確認して、その後の実習や保育者として現場で教育・保育を実施する際に歌唱させる必要がある。そして、正確に幼児に歌唱させることにより、作曲家が考えたその楽曲の意図が正しく、正確に後世に継承されることも必要であると考えられる。

このことから、本稿の『うたとあそび』の改訂は大学の授業者にとっても重要な意味を持つ作業であった。大学での幼児曲を使用した授業は、将来の保育者として、幼児にとって、「楽しい」幼児曲の歌唱が出来るかが大切な視点になる。学生が自信を持って幼児曲を歌唱するためには、その楽曲への理解が必要であるし、弾き歌いの技術も大切である。10年ほど前に比べて最近の学生は、鍵盤楽器に触れたことが無い初心者が多くなり、楽譜の読解力や弾き歌いを含む歌唱力に差がある学生が顕著になってきた感がある。現在の『うたとあそび』は、その歌の作曲家が作成した楽譜が多く掲載され、最近の学生にとっては、練習時間も減少しつつあり、『うたとあそび』に掲載された幼児曲を弾きこなすことが難しくなっている。また、わらべうたについては楽譜にして継承していく必要があり、口伝による継承だけでは時代により変化して、最終的には元歌が失われていく可能性がある。

このためには、学生や保育者の技量にあつた、コードネー

ムや左手のリズム、和声を簡略化した簡易伴奏が出来る楽譜作成も必要になってきている。今後は選定された楽曲の楽譜制作について現在ある楽譜を検討して、必要であれば、簡易伴奏が出来る楽譜を制作することが重要な課題である。また、選定した楽曲が冒頭で示した5領域と、どのように関連しているかを検討して示すことや歌唱と身体表現の関連性を示す必要もある。本稿に続く第2報では、これらのことについて論じていくことにしたい。

注

- 1 平成29年にそれぞれ告示された、幼稚園教育要領「第2章ねらい及び内容」、保育所保育指針「第2章保育の内容」、幼保連携型子ども園教育・保育要領「第2章ねらい及び内容並びに配慮事項」において、3歳児以上に関する5領域に関しては、「ねらい及び内容（配慮事項）」の説明についてほぼ同一の文章であるので、今回は幼稚園教育要領を例として掲載した。

参考文献

- 1 文化庁編 『親子で歌いごう日本の歌百選』 東京書籍、2007
- 2 童謡データベース <http://doyo.jp/index.htm>
- 3 石田清子「幼児音楽教材における旋律と和声の関係 - 童謡の伴奏における、和音の非利用による効果について -」愛知江南短期大学 紀要, 32 (2003) pp.93-108
- 4 原 祐子「保育における子どものうた」四天王寺大学紀要, 47 (2009) pp.189-205
- 5 大山美和子「幼児の音楽表現に関する保育的意味について」清和女子短期大紀要, 25 (1996) pp.103-110

(平成29年12月15日 受理)

参考資料

表10 『うたとあそび』に継続掲載することとなった楽曲一覧

4月のうた	1	チューリップ	9月のうた	42	こおろぎ	2月のうた	81	豆まき
	2	手をたたきましょう		43	せみのうた		82	つぼみ
	3	大きなたいこ		44	おなかのへるうた		83	春よこい
	4	靴がなる		45	お月さま	3月のうた	84	うれしいひなまつり
	5	せんせいとおともだち		46	とんぼのめがね		85	そうだったらいいのにな
	6	お花が笑った		47	おへそ		86	うぐいす
	7	めだかの学校		48	ポンポコたぬき		87	一年生になったら
5月のうた	8	ふしぎなポケット	49	かわいいかくれんぼ	88		サッチャン	
	9	こいのぼり	50	お話し指さん	89		思い出のアルバム	
	10	小鳥のうた	51	おもちゃのマーチ	90		卒業の歌	
	11	お母さん	10月のうた	52	キリンさん	生活のうた	91	おはようのうた
	12	お母さん		53	森のくまさん		92	おはようのうた
	13	おうま		54	こぶたぬきつねこ		93	どこでしょう
	14	ぞうさん		55	でぶいもちゃんちびいもちゃん		94	お弁当
15	おんまはみんな	56		まつぼっくり	95		歯をみがきましょう	
16	アイアイ	57		どんぐりころころ	96		おかえりのうた	
6月のうた	17	おたまじゃくし		58	どんぐり		97	さようならのうた
	18	かえるの合唱	59	うんどうかい	98	おはなし		
	19	雨	11月のうた	60	菊の花	99	手をつなごう	
	20	雨だれポツタン		61	線路は続くよどこまでも	100	ひらいたひらいた	
	21	あめふりくまのこ		62	山のワルツ	101	かごめかごめ	
	22	かたつむり		63	バスごっこ	102	あくしゅでこんにちは	
	23	時計のうた		64	犬のおまわりさん	103	通りゃんせ	
24	おおきな古時計	65		もみじ	104	おちゃらかホイ		
25	お父さん	12月のうた		66	コンコンクシャンのうた	105	竹の子1本おくれ	
26	ゆりかごのうた		67	たき火	106	花いちもんめ		
27	お使いありさん		68	ジングルベル	107	大きな熊さん		
28	ありさんのお話		69	サンタクロース	108	あんたがたどこさ		
7・8月のうた	29		しゃぼん玉	70	あわてんぼうのサンタクロース	109	大きな栗の木の下で	
	30		水あそび	71	お正月	110	げんこつやまのたぬきさん	
	31		海	72	もちつき	111	お寺のおしょうさん	
	32	うみ	1月のうた	73	カレンダーマーチ	112	にほんばしこちょこちょ	
	33	七夕さま		74	すうじの歌	113	ロンドン橋	
	34	きらきら星		75	たこの歌	114	泣こかい飛ぼかい	
	35	お化けなんてないさ		76	雪のペンキやさん	集団あそびのうた	115	サラリと勝ったよ
36	はなび	77		雪				
37	トマト	78		北風小僧の寒太郎				
38	南の島のハメハメハ大王	79		おもちゃのチャチャチャ				
39	ヤンチャリカ	80	やぎさん郵便					
40	とんでったバナナ							
41	アイスクリーム							

保育者のニーズに沿った幼児曲に関する研究 (1)

表11 『うたとあそび』から削除することとなった楽曲一覧

4月	1	指のうた	1月	33	月火水木金土日のうた
	2	今日からみんなお友達		34	こんこんこやま
	3	たんぼぼ		35	まがりかど
5月	4	金魚のひるね	2月	36	あられ
	5	かぜよふけふけ		37	きゅつきゅつきゅつ
	6	つばめ		38	おさるが舟をかきました
6月	7	えんそく	3月	39	春
	8	びわ		40	卒業の歌
	9	ながぐつ		41	シャベルでホイ
	10	早起き時計	生活のうた	42	たんじょうび
	11	父の日の歌		43	かたづけましょう
	12	おとうさん		44	おむねをはりましょ
7・8月	13	パパとぼく	集団あそびのうた	45	せっけんさん
	14	お肩をタントン		46	お爪をきりましょう
	15	海の底には青いうち		47	はみがきのうた
	16	お星さま		48	赤青黄いろ
	17	夏休みのうた		49	あらどこだ
9月	18	雲さん	50	ひょうたんぼっくりこ	
	19	うちのおじいさん・おばあさん		51	庭に出て遊ぼう
10月	20	おすもうくまちゃん	52	スキップあそび	
	21	走るの大好き		53	子供の王様
	22	運動会		54	1人の象さん
	23	秋		55	ジョンブランの小父さん
11月	24	ぶらんこ	56	やおやのつねこさん	
	25	走れちよとつきゅう		57	ジャンジャンジャン助さん
	26	ゆうらんバス		58	親指ねむれ
	27	りんごとみかん		59	一が喰ろた二が喰ろた
	28	まっかな秋		60	林の中から
12月	29	つんつんつるさん			
	30	もしもコックさんだったなら			
	31	きよしこの夜			
	32	北の国から			